

ナバリスト 17

前川 佳子 さん | 箕曲コーラス「La.pesca」

まえがわ・けいこ ●箕曲市民センターのサークル「La.pesca」の今年度部長。「La.pesca」とは、イタリア語で「桃」の意味。箕曲小の校歌の一節「桃のほほえむ花の園」にちなんで名付けた。小中学校で平和と命の尊さを歌で伝える他、保育園や介護施設、地域の老人会などに出向き、歌で地域に元気を届けている。



恩師と仲間の死などを乗り越えた仲間たち。「杖をついても続けよう」と話している。



箕曲文化祭には毎年参加。介護施設など、依頼を受けたら積極的に訪問している。



戦争を伝えるため、語り部に話を聞く大人の社会見学も開催。

かけがえのない仲間と共に、平和の尊さを伝えていく

箕曲コーラス「La.pesca」は、箕曲小学校のPTAコーラスとして平成8年に結成し、今は箕曲市民センターのサークルとして活動を続けています。私たちが平和の大切さを伝える活動を始めたのは、戦時中に蔵持小学校で銃撃を受けた「被弾ピアノ」との出会いがきっかけでした。

知り合いの音楽グループなどにも声をかけて開催した平成18年の「被弾ピアノコンサート」を皮切りに、平成22年からは市の委託を受けて市内中学校で「非核平和コンサート」を開催。依頼のあった中学校に赴き、朗読や映像、音楽を担う仲間と共に、名張にあった戦争と、平和の大切さを伝え続けています。

子どもたちからは、「名張に戦争があったなんて、初めて知った」という声がたくさん寄せられます。戦争を体験した世代が高齢化する中で、私たち戦争を知らない世代が語り継いでいくことが大切だと思っんです。「今あたりまえにある生活が、あたりまえではない」ことを、これからも伝えていきたいですね。

私たちが活動を続けてこられたのは、かけがえのない仲間のおかげ。歌を通じて、また、「被弾ピアノ」を通じて仲間がどんどん増えました。子どもたちが戦争や平和に少しでも関心を持てるように、これからも仲間たちと共に活動を続けていきます。コンサートを聞いた人も、平和を自分の次の世代につないでいくために活動してくれたら嬉しいですね。

編集後記

小学生の頃、音楽室の片隅に寂しげに置かれていた被弾ピアノ。戦争を語り継ぐ歴史の証人として、いつまでも活躍してほしいものです（たか）

中学校の修学旅行で訪れた原爆ドーム。写真を見て怖くなり、駆け足で通り過ぎた思い出が。私にとつて、とても大切な記憶です（くま）

実際に戦争を体験した人に直接話を聞く、貴重な機会をいただきました。亡くなった曾祖母の話も聞いておきたかったと後悔……（はる）

オオサンショウウオの弥助を退勤時に覗くのですが、この間は自分のしっぽのせいで隠れ家に入れずにいました。かわいいです（はな）

市役所などの受付時間を短縮



令和7年8月1日～
9:00～16:30

対象施設 市役所、保健センター、まちの保健室、上下水道部庁舎（電話の受付時間は変更なし）ほか



詳細 市HP